

週間漁海況情報一第24号

平成24年6月18日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.green.pref.tokushima.jp/suisan/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

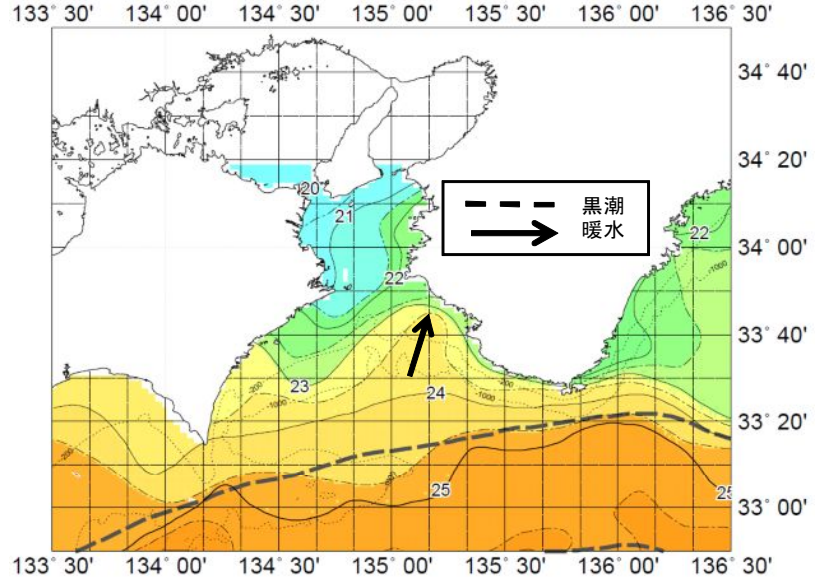
1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H24.6.18）を示した。

黒潮は、室戸岬沖～潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、24～26℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で19℃台、紀伊水道で20～22℃台、海部沿岸で21～23℃台である。

紀伊水道内外域では、和歌山県側に23℃台の暖水流入が見られる。海部沿岸では、内海系水の南下が見られる。



紀伊水道海区観測結果

観測日		水温					塩分				
		表層	10m	20m	30m	50m	表層	10m	20m	30m	50m
6/11, 13, 14	今年値	20.9	20.5	20.6	20.4	19.3	32.7	33.1	33.5	33.7	34.0
	平年偏差	1.3	1.5	1.6	1.6	1.2	0.2	0.1	0.1	0.1	-0.2
	前年偏差	1.3	1.4	1.2	1.1	0.5	0.8	0.3	0.3	0.3	-0.1

漁業調査船「とくしま」で6月11, 13及び14日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、表層が「やや高め」の20.9℃、10m、20m及び30m層が「高め」の20.4～20.6℃、50m層が「やや高め」の19.3℃であった。

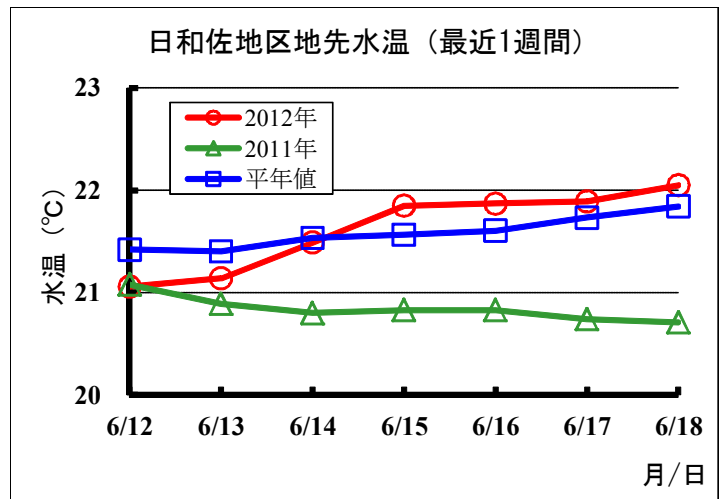
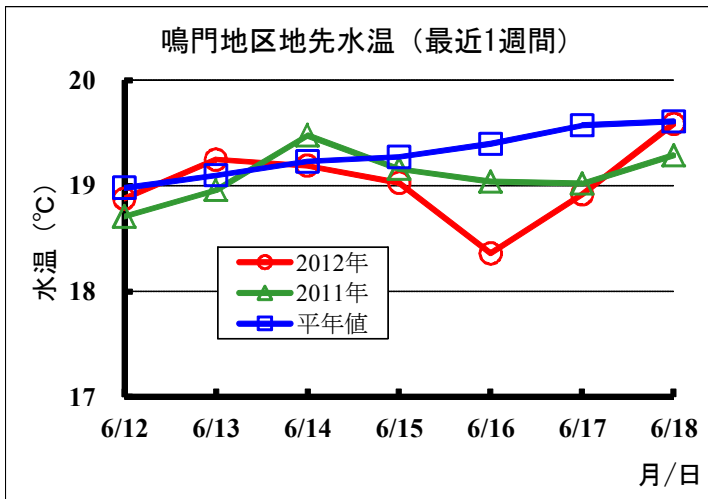
地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並み」の18.4～19.6℃、日和佐地区は「平年並み」の21.1～22.1℃、牟岐地区は「平年並み」～「やや高め」の22.0～23.4℃で推移した。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」～「接岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の19～20℃台、日和佐地先で「平年並み」の21～22℃台で推移する見込み。

*水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上



2. 漁況の経過

小型定置網：海部沿岸で、マイワシが0.3トン（1日1隻当たり104kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、小主体にマアジが3.2トン（同794kg）、中主体にゴマサバが0.6トン（同155kg）、マイワシが3.1トン（同772kg）、マイワシ主体にイワシ類が3.7トン（同929kg）、マルソウダが0.6トン（同146kg）、大主体にシイラが0.4トン（同97kg）、小主体にスルメイカが0.2トン（同60kg）、6月11日にはクロマグロが0.6トン（同153kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、中主体にカツオが2.5トン（同100kg）、中主体にキハダが2.1トン（同236kg）、マルソウダが0.3トン（同16kg）、大主体にシイラが0.3トン（同40kg）、紀伊水道で、タチウオが0.3トン（同13kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが10.9トン（同117kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 6月11日～6月18日

県下5漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	マイワシ	3	313	104	
大型定置網		マアジ	4	3,174	794	小主体
		ゴマサバ	4	621	155	中主体
		マイワシ	4	3,089	772	
		イワシ類	4	3,717	929	マイワシ主体
		クロマグロ	4	613	153	6月11日のみ
		マルソウダ	4	582	146	
		シイラ	4	389	97	大主体
		スルメイカ	4	240	60	小主体
		釣り	海部沿岸	カツオ	25	2,512
キハダ	9			2,122	236	中主体
マルソウダ	19			304	16	
シイラ	7			281	40	大主体
パッチ網	紀伊水道	タチウオ	24	315	13	特大主体
		シラス	93	10,850	117	